



ツルボ 彼岸近くにまず花茎だけ出して淡紫色の花を咲かせる。



メドハギ 3枚一組の葉が茎に密生し、黄白色で紫色の斑紋のある花をつける。



マルバルコウ 葉は先のとがった卵形で、花は朱色で五角形に見える。



ヒナタイノコズチ 果実は密に並び、熟すと衣類にくっつく。



キンミズヒキ 奇数羽状複葉で、長い花茎に黄色い5弁花をまばらにつける。



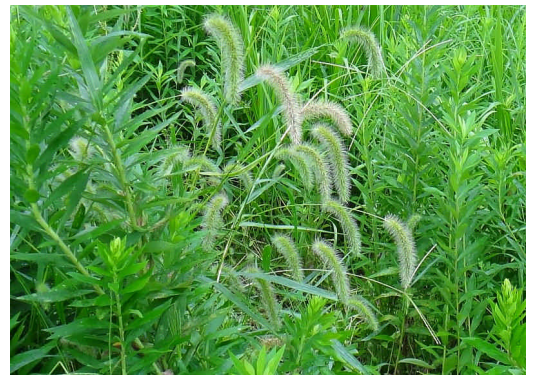
イヌビエ 花茎から出る多くの短い枝に、緑色で卵形の小穂を密生させる。



ヒカゲイノコズチ 果実はややまばらに並び、熟すと衣類にくっつく。



ヒヨドリバナ 先が細く裂けた白い花を多数咲かせる。



アキノエノコログサ エノコログサより大柄で穂が低く垂れる。



ミズヒキ 長い花茎に鉤のついた赤い小さい花をまばらにつける。



ガガイモ つる性で、角のようにとがった大きな袋果をつける。



テンツキ 花茎が数個に枝分かれし、先に紡錘形で黄褐色の小穂をつける。



アキノノゲシ 草丈は1メートル以上になり、淡黄色の花をつける。



ヨモギ 葉は羽状に裂け、裏に灰白色の綿毛が密生する。



アゼガヤツリ 枝分かれした茎先に黄褐色の細長い小穂を放射状につける。